

ことばの発音がはっきりしないことを心配している保護者の方へ

3歳できれいに発音できなくても、まだ心配はいりません。関わりに配慮しながら、発音の成長を待ちましょう。

1 発音の成長について

正しい発音になるには発達段階があり、成長に伴って少しずつ正しい発音を獲得していきます

2歳～3歳：「サカナ」を「チャカナ」、「ツクエ」を「チュクエ」のように他の音に置き換えて言うことが多くあります。また「クルマ」を「ブーブ」と言うなど幼児語も多くみられます。言葉が増える分、発音の不明瞭さが目立つ時期です。

4歳～5歳：サ行・ザ行・ツ・ラ行以外の音が正しい音で発音できるようになります。

5歳～6歳：サ行・ザ行・ツ・ラ行の難しい音が正しく発音できるようになります。

発音の完成時期は個別差が非常に大きいです。運動の発達、相手のお話を聴き、まねる力など多くの成長に伴って完成していきます。

2 どのように関わるといいの？

- ① 発音が不明瞭な段階にあるときは、ことばの言い直しをさせるのではなく、出来るだけお子さんが話している内容をよく聞いてあげましょう。(気持ちよくコミュニケーションができる経験が大切です！)
- ② 楽しく対話しながら、正しくきれいな発音を多く聞かせてあげることが大切です。
上記のように対話を通して、聴く力が育ち、自分の発音の違いに気づき、修正しながら徐々に正しい発音を身につけていきます。

3 発音の練習が必要なのはどんな時？

- ① 発音が上手になるのを待っていたけれど、変化がみられない時
目安としては5歳頃になっても発音の不明瞭さが目立つ、または小さい時と比べて変化がみられない場合はご相談ください。
- ② 本人が自分の発音を気にしたり、周りから指摘されるようになった時
発音の不明瞭さが原因で話すことを嫌がる、イライラしている、周りから指摘されて気にしているなど人との関わりやコミュニケーションに影響している場合は、年齢に関わらずご相談ください。
- ③ 聴力が原因だと思われる場合
中耳炎を繰り返したり、耳鼻科系の疾患の既往歴がある場合で発音の不明瞭さが改善しない場合や聴こえが気になる場合には、医療機関もしくは下記にご相談ください。
※聴力の低下がある場合、必ずしも発音が不明瞭になるとは限りません。

【相談先】江別市保健センター

TEL:011-385-5252

江別市子ども発達支援センター(こだま)TEL:011-384-3003